



議会だより

おおたわら市

“題字は高野礼子議長”

平成30年

2月

1日号

No.184



羽田沼の白鳥

平成29年
第4回

市議会定例会

ふれあいの丘の 指定管理者決定

平成29年第4回市議会定例会(12月定例会)は、去る12月4日(月)から14日(木)までの11日間を会期として開かれました。

初日に正副議長など議会人事に関する選挙と各常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任を行い、正副委員長の互選を行いました。(議会だより1月1日号に掲載のとおり)

本定例会に提出された案件は、報告1件、議案10件及び陳情1件でした。

初めに市長の専決処分事項の報告は、公用車による物損事故に対する賠償額の決定と和解についてでありました。

次に主な議案としては、平

成29年度大田原市一般会計補正予算(第4号)や条例の一部改正議案、ふれあいの丘の指定管理の指定についてでありました。

一般会計補正予算については、歳入歳出予算、債務負担行為及び地方債の補正であり、特に緊急を要する補正措置を講じるものでした。

条例の改正及び指定管理の指定等に関しては、所管の各常任委員会に付託され、最終日にその結果が報告されました。採決の結果、これらを含めて本定例会に上程された議案は全て原案のとおり、可決・承認し、陳情は不採択となりました。

最終日には、大田原市議会活性化特別委員会の委員の選任があり、8名の委員が議長より指名され、選任されました。

議案の詳細と一般質問の内容については、下記以降をご覧ください。

平成29年 第4回大田原市議会定例会 審議された議案等と結果

議案番号	議案件名	結果
選挙第1号	議長の選挙について(高野礼子議員)	当 選
選挙第2号	副議長の選挙について(君島孝明議員)	当 選
選挙第3号	那須地区広域行政事務組合議会議員の選挙について(藤田紀夫議員・引地達雄議員・高野礼子議員)	当 選
選挙第4号	那須地区消防組合議会議員の選挙について(高野礼子議員・君島孝明議員・菊池久光議員)	当 選
報告第11号	市長の専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告受理
議案第80号	市長の専決処分事項の承認を求めることについて(平成29年度大田原市一般会計補正予算(第3号))(補正金額:3,420万円)	承 認 (全会一致)
議案第81号	大田原市税条例等の一部を改正する条例の制定について(地方税法の一部改正による改正)	原案可決 (全会一致)
議案第82号	大田原市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について(地方税法の一部改正による改正)	原案可決 (全会一致)
議案第83号	大田原市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について(すみよし子育て支援センターを廃止することによる改正)	原案可決 (賛成多数)
議案第84号	大田原市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について(親園中学校と佐久山中学校の統合による改正)	原案可決 (賛成多数)
議案第85号	大田原市子育てプラザ館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について(利用者の減少及び施設の老朽化により、平成30年3月31日をもって同館を閉館することによる廃止)	原案可決 (賛成多数)

議案番号	議案件名	結果
議案第86号	那須地区広域行政事務組合規約の一部変更に伴う協議について（こども発達支援センターなすの園の民営化に関し、関係市町による協議を行うため議会の議決を求めるもの）	原案可決 (全会一致)
議案第87号	大田原市ふれあいの丘の管理運営について（学び・いきいき活躍推進グループを指定）	原案可決 (全会一致)
議案第88号	平成29年度大田原市一般会計補正予算（第4号）（補正金額：9億410万円）	原案可決 (賛成多数)
議案第89号	平成29年度大田原市介護保険特別会計補正予算（第2号）（補正金額：782万円）	原案可決 (賛成多数)
陳情第10号	北朝鮮のミサイルに備えた避難訓練等の実施を求める陳情書	不採択 (賛成多数)

平成29年 第4回市議会定例会における表決状況一覧（賛否が分かれた議案）

議案	秋山幸子	印南典子	星雅人	鈴木央	滝田一郎	弓座秀之	櫻井潤一郎	高木雄大	高瀬重嗣	菊池久光	深澤賢市	中川雅之	大豆生田春美	小池利雄	藤田紀夫	君島孝明	前野良三	高野礼子	黒澤昭治	引地達雄	本澤節子	小野寺尚武	千保一夫	高崎和夫	小林正勝	前田雄一郎
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第84号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第85号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第88号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第89号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○
陳情第10号 (不採択に対して)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 ※高野礼子議長は採決に原則加わりません

市民5分間演説のお知らせ

大田原市議会では、市内に在住、在勤または在学する方で、議案に対する賛否や市の一般事務について、自分の意見を自由に発言することができる「市民5分間演説」を実施しております。

ぜひ議員の前で演説を試みませんか。市民の皆様の参加をお待ちしております。詳細については議会事務局までお問い合わせください。

（演説申込について）

演説を希望される方は、土曜日、日曜日、祝日を除く、定例会の各常任委員会開催日3日前の正午までに議会事務局に市民5分間演説申込書（様式第1号）を提出してください。なお、演説に関する詳細については市議会ホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。



平成30年 3月定例会 開催のお知らせ

会期(予定) 2月26日(月)～3月13日(火)

※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。



市議会ホームページは
「いずみ」のマークをクリック



一般質問 市政を問う

一般質問とは

定例会において、議員が市民の代表として、行政全般にわたり市の考え方や施策の進捗状況及び将来における政策方針等を質すことです。

また、議員は市長等の答弁を受け、疑問を質すことはもとより、市民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をする議員の重要な権限です。

(次ページ以降の質問及び答弁に関する記事は、質問した議員が自ら原稿をおこし、それを掲載しています。)

質問通告者と質問事項

順番	質問者	質問事項	順番	質問者	質問事項
1	高瀬 重嗣	①大田原市高齢者ほほえみセンターについて ②地域おこし協力隊について	8	秋山 幸子	①待機児童について ②市町村合併のその後について ③北那須水道用水供給事業、県水の単価引き下げについて ④子どもの甲状腺エコー検査について ⑤大田原市の中学生の広島平和記念式典派遣事業について
2	菊池 久光	①今後の大田原市のまちづくりについて ②中田原工業団地への資生堂進出について ③若者の定住促進と子育て施策について ④大関増裕公没後150年記念事業について	9	中川 雅之	①子どもの弱視対策について ②中心市街地活性化について
3	滝田 一郎	①文化財の改修費補助及び災害補償への補助について ②第7期あんしんプラン策定に係る地域包括支援センターの増設及び介護保険料改定について ③国民健康保険の県移管に即応した基金活用等による保険税減額について	10	本澤 節子	①教育問題について「憲法14条に合った豊かな子ども時代のための教育を」 ②放射能対策の見直しについて ③バイオマス産業都市構想について ④市民生活の問題について ⑤農業問題について ⑥市民の声
4	大豆生田春美	①小中一貫教育について ②市民の安心安全について ③ふるさと納税返礼品について	11	小池 利雄	①ICT活用教育の推進について ②災害時における学校避難所や要支援者の対策について ③若者の夢をかなえるチャレンジ補助金制度の創設について
5	前野 良三	①平成30年度予算編成方針について ②婚活マスター制度について ③公共交通について	12	鈴木 央	①防犯カメラについて ②グラウンドゴルフについて ③雇用の拡大について
6	星 雅人	①部活動のあり方について ②発達障害支援センターの誘致について	13	小野寺尚武	①平成30年度予算編成方針と公表について ②債権の分類と現況及び債権管理について
7	印南 典子	①市の宝、清流那珂川の利活用について ②大田原市立中学校柔道事故調査報告書について ③認知症への理解を深める活動について	14	千保 一夫	①教育優先のまちづくりについて ②市民負担は可能な限り軽減する姿勢が求められる ③市は今後どこへ向かって進もうとしているのか

※太字が掲載されている項目

大田原市高齢者 ほほえみセンター について



高瀬 重嗣 議員

質問…開設20年目を迎えるが、現在の運営状況について伺う。

答弁…利用延べ人数は、年々増加の傾向にあり、平成28年度は24カ所全体で、前年度比13・6%増の6万7863人の利用があった。今後も高齢者の社会参加を視野に入れ、介護予防拠点施設としての活用を促していきたい。

質問…ほほえみセンターと見守

り隊について、両事業の一体化、または見直しの考えは。

答弁…利用者、支援者がともに高齢者で、どちらも住みなれた地域で自立した生活が送れるよう支援していくという点で、同じ目的を持っている。またそれぞれの事業の利用者、支援者が重複している場合もある。連携を図りながら、協力体制を構築していく必要が出てきたと思う。

質問…ほほえみセンター事業の民間委託について、市はどのように考えるか。

答弁…今後ますます多様化する高齢化社会を迎え、福祉全般を一体的に進めていく必要があることから、民間委託についても視野に入れ、高齢者ほほえみセンター管理運営委員会や関係機関、団体と協議をしていく必要があると考えている。

一般質問



菊池 久光 議員

中田原工業団地への 資生堂進出について

質問…進出決定に至るまでの経緯について伺いたい。

答弁…資生堂では、国内外より高品質なメイドインジャパン製品に大きな需要が拡大していることを踏まえ製造工場の建設が急務となっており、国内で候補地を調査していた中、首都圏においては中田原工業団地が最終候補地としてあげられ、全国数カ所に絞られた候補地の中から

多様な立地条件や環境等を精査した中で大田原市を最終的に決定していただきました。本市のこれまでの取り組みや市長自らが先頭に立ち情報発信を行う姿勢が産業界のどこかで本市の評価として伝わり、新工場建設のタイミングとも合致して、今回の決定に少なからず影響を与えたのではないかと考えます。

質問…進出決定に大きく影響を

与えた大田原市の魅力は何か。

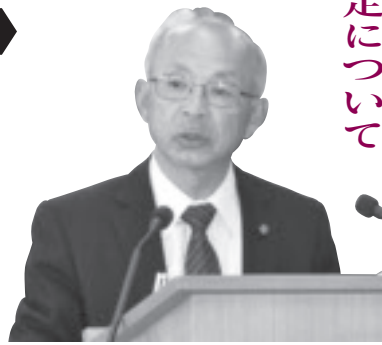
答弁…震災のリスクが少ない。大都市からのアクセスが良い。大学や高校も多く人材確保がしやすい。最先端企業が集積している。環境や水などもPRしてきました。資生堂が立地を検討する過程の中で、従業員の住環境や子育て環境も調査されており、決定に当たっての要因の一つではと考えています。

ふるさと納税返礼品
について



大豆生田 春美 議員

一般質問



滝田 一郎 議員

第7期あんしんプラン策定
に係る地域包括支援センタ
ーの増設及び介護保険料改
定について

質問…第7期あんしんプラン策定における重点項目について。

答弁…2025年度には市民の3人に1人が高齢者となる見込みですので自立支援等を重点項目に掲げ積極的に推進します。

質問…各地域包括支援センターの対象高齢者数の推移及び業務実績について。

答弁…高齢者数は年々増加しており、平成29年4月1日現在で、

中央地域包括支援センターは7

337人、認定率18・43%、西

部地域包括支援センターは66

58人、認定率16・18%、東部

地域包括支援センターは561

3人、認定率21・49%となつて

います。業務実績は、高齢者数

に連動しています。

質問…地域包括支援センターの増設等の組織再編について。

答弁…運営協議会委員の皆様の

ご意見と現場の声を参考に機能強化に努めています。

質問…介護保険料抑制の方針及び介護保険料改定について。

答弁…保険料基準額が上昇することは避けられないと思いますが、基金を取り崩し、介護予防事業に力を入れつつ、要介護認定適正化や介護給付適正化にも取り組むことで保険料上昇の抑制につながるものと考えます。

質問…返礼品としてお墓の清掃サービスを加えてはと思います。が、考えをお伺いいたします。

答弁…都市部に住み、ふるさとに帰省して墓参りを行うことができない方にかわり、お墓の清掃や花を供えるといったサービスは、ふるさとを離れて暮らす方には喜ばれるサービスであり、このサービスを返礼品に加えることで、地元出身者がふるさと

納税寄附を行うきっかけにもつながるものと考えています。お墓の清掃サービスを返礼品として取り扱うためには、まずは市内でサービスをを行う事業者との調整が必要となりますが、先進的な自治体の取り組みを参考とし、本市のふるさと納税の返礼品の一つとして取り扱うことができるよう進めていきたいと考えています。

質問…早めにお願いたしたいと思います。が、時期などはいかがでしょうか。

答弁…せっかく導入するのであれば、いつぱい需要があるお盆とかお彼岸の時期がありますので、平成30年度中には実現できるような努力をしたいと考えています。

公共交通について



前野 良三 議員

質問…デマンドタクシーの利用状況と運行地域の拡大について。
答弁…現在本市のデマンド交通運行事業は、黒羽地区において平成25年4月からワゴン車両3台により、区域内運行として実施しています。その方法は、事前に利用者登録をし、利用したときに予約をして自宅付近の乗降所から、市があらかじめ指定した行き先までの間を輸送す

るものです。平成28年度末に策定した大田原市地域公共交通網形成計画において、既に運行している黒羽地域でのデマンド交通の1人1乗車あたりの運行経費3083円を超える市営バス路線を運行形態の見直しが必要な路線とし、運行効率の改善と地域住民への利便性向上、コスト削減に繋がるような移動手段の確保をめざすこととし、デマ

ンド交通の導入を検討しています。その中で、金丸線については通勤、通学者のため、須賀川線は八溝地域定住自立圏の関係で市営バスの継続運行を考えています。黒羽佐良土線、佐久山野崎駅線については、湯津上地区、佐久山地区、野崎地区を一体とした地域に、平成31年度を目標にデマンド交通の運行開始を考えています。

一般質問



星 雅人 議員

発達障害支援センターの誘致について

質問…県は2018年度からの発達障害者地域支援マネジャーを配置することを決めました。発達障害者地域支援マネジャーは、厚労省の資料に「原則として発達障害者支援センターに配置」とあることから、支援センター自体の複数設置の方向になるのではないかと予想しています。そこで、発達障害者支援センターを大田原市にも設置して

もらえるよう県に働きかけてみてはどうかと思いますが、市のお考えをお伺いします。
答弁…平成28年度の発達障害者支援法の改正により、都道府県等は地域の実情を踏まえながら、発達障害者が可能な限り身近な場所において必要な支援を受けられるよう、発達障害者支援センターのあり方や発達障害者地域支援マネジャーによる地域支

援機能の強化などが盛り込まれました。当事者及び家族が身近な地域で支援が受けられる体制は非常に大切なことであると考えています。発達障害者に対して専門的な知見を有する国際医療福祉大学など関係機関と情報を共有するとともに、実施主体の県と情報交換をしていきたいと考えています。

大田原市立中学校
柔道事故調査報告
書について



印南 典子 議員

一般質問



秋山 幸子 議員

待機児童について

質問…この質問をさせて頂く最大の理由は、事故の際に指導、監督責任があった学校関係者に、この報告書に書かれている事実や提言を真摯に受け止め、二度とこのような事故を起こさない為の再発防止の努力を、他の部活動の如何なる目的より最優先に実行して頂きたい。その思いで、再発防止の具体的な対策について伺います。

回答…4つの具体策を講じています。1、中学生で柔道経験する初心者、5月から8月の大外刈り練習を禁止する。2、初心者大会出場は、9月の那須地区新人大会からとする。3、柔道専門家を派遣し習熟度、練習環境の確認を行う。4、初心者へのヘッドギアの装着を義務付ける。

質問…過去5年間の待機児童の推移について伺います。

回答…平成25年が11人、平成26年が4人、平成27年がゼロ人、平成28年が6人、平成29年が18人です。また、今年度からは特定の園を希望しているなどの理由で待機児童に含まれない潜在的待機児童の数も合わせて国へ報告していますが、その人数は37人です。

質問…恒常的な保育士不足を解消する為の市の取り組みを伺います。

回答…保育士不足を解消する為、臨時保育士の賃金面の処遇改善を行っており、フルタイムの日額賃金を見直し、早番、遅番の賃金上乘せ、パートタイムの時給を増額しました。

質問…保育士の給料の底上げと必要な保育士数を、正規職員で

回答…確かに正職員として雇うべきとのお話ですが、来年4月、正規の保育士を4人ほど採用する予定です。十分な数ではない状況ではありますが、人員適正化計画にのっとり保育士の補充を進めていく考えです。

質問…今回のような事故が二度と起きてはならない。予防措置や事後策等についても真摯に対応しています。ヒヤリハットのようなちょっとした油断の中から起きてしまう。いかに日頃から気を付けていかなければならないかを発信し、いつでも事故は起きるのだという考えで対処していきたい。

い致します。

子どもの弱視対策について



中川 雅之 議員

質問…3歳児健康検査における視力検査の現状について

答弁…視力検査は2種類の方法（「保護者アンケート」質問項目と自由意見により子どもの見え方に関する心配な状況を確認、「絵カード」を使い、事前に家庭で検査を実施していただき、結果を確認）で実施し、また、3歳児検診で視力の異常を発見し早期治療をする事の重要性を伝

えるとともに、家庭で適切に検査が出来なかった子どもについては、検診来所時に職員が検査を実施しています。3歳児検診で目の異常が疑われる子どもについては、紹介状をお渡しして、眼科受診を勧めており、精密検査受診状況と結果を把握し、未受診の方については、受診勧告を行い、精密検査受診率100%を目指しています。

質問…厚生労働省から4月「3歳児健康診査における視力検査の実施について」協力依頼が出されていますが、改善した点及び今後の取り組みについて。

答弁…これまで以上に3歳児検診における眼科検査の重要性を保護者に通知し、さらに、精密検査対象者の医療機関受診の徹底と、引き続き受診率を高める取り組みを実施していきます。

一般質問



本澤 節子 議員

バイオマス産業都市構想について

質問…広域クリーンセンター大田原のごみ発電について、1、

今なぜごみ発電なのか。2、地元住民の了解は。3、44億円の根拠を明らかにしてください。

答弁…今なぜごみ発電なのかについては、広域クリーンセンター大田原を管理運営する那須地区広域行政事務組合によると、平成31年度から平成33年度の3カ年で焼却炉やごみクレーンな

どの基幹的設備の改良工事を行い、施設の延命化を図る際に、ごみの焼却により発生する熱を有効に利用するため発電設備を設置し、場内で使用することで経費の削減を図り、さらに地球温暖化防止に寄与するためとのことであります。また、地元住民の了解については、平成25年度より地元4自治会長に説明をしており、今後必要に応じて

情報提供していくとのこと。44億円の根拠については、発電設備を含めた基幹的改良事業は、同組合が策定した計画に総事業費約44億円として計画されており。計画に当たり、広域クリーンセンター大田原と同程度の規模を有し、これらの事業を既に実施している秩父クリーンセンターを参考としていくとのことであり。ます。

防犯カメラについて



鈴木 央 議員

一般質問



小池 利雄 議員

若者の夢をかなえる チャレンジ補助金制 度の創設について

質問…若者の夢をかなえるチャレンジ補助金制度の創設について伺います。

答弁…本市における人口減少の要因の一つが、若い世代の転出超過であると考えております。この問題を解消するためには、若者の企業支援やU、I、Jターナーの受け皿として安定した雇用の確保が大変重要であると考えております。今回提言を

質問…現在の設置状況について伺います。大田原市の更なる安心安全の構築、推進を図る上で行政による防犯カメラの積極的な設置がどうしても必要な大切な要素の一つと考えるからです。
答弁…現在、危機管理課が把握している内容で申し上げます。まず、市が公共的施設に設置している防犯カメラについては、JR野崎駅の西口駐輪場、西口

いただいたチャレンジ補助金については、大田原市総合計画おおたわら国造りプランの重点テーマ及び大田原市未来創造戦略の基本目標に掲げている安定した雇用の創出に沿ったものだと考えますので、福岡県直方市等の他の実施自治体の取り組みを調査研究していきます。
質問…人口減少対策として、有効な取り組みとして前向きに検

駐車場、中央立体駐車場、保育園が4園、小中学校が4校で合計46台でありましたが、最近になりまして黒羽保育園に設置しましたので、保育園が1園増えて5園、台数が1台増えて47台となりました。これが市で設置した内容となります。
そのほかに関係機関が公共的施設に設置した防犯カメラについてはJR野崎駅の待合室、そ

討していただきたいと思います。
答弁…U、I、Jターナーの政策を進める上で、未来創造戦略に掲げた安定した雇用創出、あるいは新しい人の流れをつくるという政策の方向性と一致する内容のご提案ですので、先進事例を調査研究し、さまざまな方法を今後研究し、前向きに検討していきたいと思っております。

れから市内2カ所の民営保育園に合計14台設置してあります。
また、市の補助金を活用して自治会、商店会で設置した道路公園等を撮影している防犯カメラについては、現在26台です。

債権の分類と現況及び債権管理について



小野寺 尚武 議員

一般質問



千保 一夫 議員

市民負担は可能な限り軽減する姿勢が求められる

質問… 厳しい財政状況下、債権

管理条例を制定し債権管理の効率化と適正化を図るべきであり、財源の厳しい中、自主財源を増やすべきと思うが問う。

答弁… 御指摘の通り本市が有する強制徴収公債から私債権まで全ての債権は市民の負託に応えるべく公平適正な賦課と効率的な徴収を行っています。昨年6月に各債権所管課の職員をメン

バーとし債権管理検討プロジェクトチームを設置し債権管理の

適正化の調査検討を10カ月間重ね、基本方針やマニュアルの検討を進めてきました。その結果も踏まえ適切な債権管理を実施する事を考えることから、条例の制定は現在考えていません。

質問… 市民負担の公平性の観点から各債権に適用される、法令の規定や管理等の事務処理は非

常に大切であり、そのためにも債権管理条例の制定が必要である。

答弁… 県内でも4つの市が条例を制定しているとのことでありますので、制定するのも一つの方法かと思いますが、プロジェクトの結論が現在の専決処分事項の指定の中で、処理が出来るいくとの結論でありますので将来の検討課題としていきます。

質問… 国保税の大幅引き下げを実施すべき。平成28年度決算によると、被保険者一人当たり基金保有高4万8662円、決算黒字額が3万1979円、合計で被保険者一人当たりの余剰金は8万641円もある。この金額は一人当たり国保税平均額10万1869円の約八割にも相当する。被保険者一人当たり3万円引き下げても大丈夫な状況だ。

答弁… 来年度からの制度改正にあたり既に保険税率の適正化に向けて試算検討をしている。

質問… 介護保険料の大幅引き下げも実施すべきだ。平成28年度決算では、1億円を基金に積立ても尚、3億5000万円もの余剰金が出てしまった。65歳以上の高齢者は一人平均7万円、最低でも3万1000円、最高15万3000円も保険料を納め

る。血の出るような思いで納める介護保険料総額は13億円余。しかし基金と決算時の余剰金とで5億6000万円以上も残っている。

答弁… 現在、第7期あんしんプランを策定中で、介護保険料の精査をしている。高齢者が増え、介護サービス利用者が増加する中、現制度上、介護保険料を引き下げるとは困難だ。

協議会及び委員会の内容

10月~12月

全員協議会

10月13日

(報告事項)

- 1 平成29年度大田原市一般会計補正予算第3号について
- 2 大田原市健康ポイントプロジェクトにおける第2回募集の実施について
- 3 認知症初期集中支援チームの設置について
- 4 那須地域定住自立圏地域公共交通網形成計画策定に係る意見公募手続(パブリックコメント)の実施について
- 5 バイオマス産業都市の選定について
- 6 平成29年度「全国学力・学習状況調査」および「とちぎっ子学習状況調査」結果について
- 7 那須地区消防組合議会定例会報告について

(協議事項)

- 1 大田原市議会個人情報保護条例施行規則の一部を改正する議会規則の制定について

11月13日

(報告事項)

- 1 大田原市新庁舎実施設計の内容及び大田原市新庁舎建設工事の進捗状況等について
- 2 大田原市「こども発達支援センター」なすの園の移譲先法人に対する施設改修等補助金交付要綱について
- 3 湯津上支所及び黒羽支所の自動交付機の廃止について
- 4 大田原市野生鳥獣被害対策事業費補助金の制度改正について
- 5 第37回(平成29年度)与一まつりの与一踊り参加賞手ぬぐい購入に係る差額請求について

- 6 那須地区広域行政事務組合議会定例会報告について

12月14日

(報告事項)

- 1 「大田原市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(あんしんプラン)第7期計画」パブリックコメントの実施について
- 2 第67期王将戦七番勝負第3局の大田原市開催について
- 3 議員親和会決算報告について

(協議事項)

- 1 各種委員等の決定について

総務常任委員会

12月4日

- 1 正副委員長の互選

- 1 付託議案の審査

民生常任委員会

10月25日

- 1 所管事項調査(大田原市地域包括支援センター業務の現状と課題)



(調査の様子)

- 1 正副委員長の互選

- 1 付託議案の審査

建設産業常任委員会

12月4日

- 1 正副委員長の互選

文教常任委員会

12月4日

- 1 正副委員長の互選

- 1 付託議案の審査

議会運営委員会

11月27日

- 1 平成29年第4回市議会定例会の運営について

12月4日

- 2 1 正副委員長の互選
- 1 議会活性化特別委員会委員の選任について

議会活性化特別委員会

10月27日

- 1 大田原市議会申し合わせ事項(案)について

11月13日

- 1 大田原市議会申し合わせ事項(案)について

議会広報広聴委員会

10月5日

- 2 1 議会だよりの発行について
- 1 質問原稿の作成に関する協議について

12月14日

- 2 1 正副委員長の互選
- 1 議会だよりの協議

- 1 議会だよりの協議

市議会ではインターネットによる生中継をしております

●アクセス方法…ご自宅等のパソコンから生中継をご覧いただく際は、市のホームページの「大田原市議会」から「議会中継」のページへお進みください。また、タブレット端末及びスマートフォンからも視聴できます。

●大田原市ホームページ: <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/>

●お問い合わせ先 大田原市議会事務局 ☎0287-23-8714



みなさんからの 請願・陳情 (委員会審査状況)

陳情第10号

北朝鮮のミサイルに
備えた避難訓練等の
実施を求める陳情書

(平成29年9月提出)

(提出者)

大田原市中野内1779番地
幸福実現党栃木県本部
栃木県第三選挙区
支部長 石渡 剛

(陳情の趣旨)

北朝鮮が発射したミサイルが日本に着弾した場合に備え、避難訓練を自治体で実施することを求めるもの

(総務常任委員会)

審査の内容・結果

審査では、陳情内容の趣旨は理解できるものの、ミサイルが発射され、Jアラートで国民に周知されるころには着弾又は通過後であり、避難する時間がほとんどないのが現実である。市においてミサイルが発射された時の対応等市民への啓蒙活動はすでに実施されており、ミサイルに特化した避難訓練を実施することは現実的ではなく、通常の防災訓練の中でも実施可能であると判断し、「不採択」とすることに決しました。

請願・陳情はこんな方法で

- 請願(陳情)書は、議会議務局へ持参してください。
- 内容は簡単な趣旨、理由、提出日、請願(陳情)者の住所及び氏名を記載し捺印して提出してください。
- 用紙のサイズはA4版をお願いいたします。
- 道路や水路等の場合は地図の写しや略図を添付してください。

《表紙》

《内容》

〇〇〇に関する
請願(陳情)

紹介議員名
(陳情は不要)

(印)

1. 請願(陳情)の趣旨
2. 請願(陳情)の理由
平成〇年〇月〇日

請願(陳情)者
住所
氏名
大田原市議会議長あて

(印)

大田原市議会活性化特別委員会

本特別委員会は、平成28年第1回定例会において設置され、審議を継続しておりますが、委員構成が変更となりました。

今後とも委員会では、議会が、様々な社会の変化や新たな行政課題に適切に対応し、議会基本条例の目的が達成されているか検証し、また継続して議会改革及び活性化の推進に努めることについて調査・検討してまいります。

委員長 君島 孝明
副委員長 小池 利雄
委員 滝田 一郎
高木 雄大
高瀬 重嗣
菊池 久光
引地 達雄
高崎 和夫

(8名)

新庁舎の進捗説明会

平成30年11月の竣工に向け建設工事が進む大田原市役所新庁舎について、建設工事を請け負う株式会社安藤・間の担当者及び市の担当職員から工事の進捗状況の説明を受けました。

説明を受けた議員から、免震装置や鋼材の性能、落雷の対応策等についての質疑応答を行うと同時に、実際に工事現場の状況を確認いたしました。

なお、現在は地上9階(実際8階建て)の1階から2階部分にかけての工事を行っております。



説明の様子

議 会 日 誌

10月



6日 那須地区消防議会定例会

11日 栃木県市議会議長会

12日 広報広聴委員会

13日 全員協議会

25日 民生常任委員会所管事項調査

26日 那須地区広域行政事務組合議会定例会

27日 議会活性化特別委員会

11月



13日 全員協議会

21日 議会活性化特別委員会

27日 県北5市議長会議

27日 議会運営委員会



12月



4日 平成29年第4回市議会定例会招集（議案上程）

6日 議会運営委員会

7日 本会議（議案質疑・一般質問）

8日 本会議（一般質問）

11日 総務常任委員会

12日 民生常任委員会

14日 文教常任委員会

14日 本会議（議決）

19日 全員協議会

25日 広報広聴委員会

26日 那須地区消防組合臨時議会

26日 那須地区広域行政事務組合議会臨時会



〈薄葉小学校 校長〉

池澤 紀子 さん



十二月の市議会一般質問の一日目を傍聴させていただきました。傍聴に当たり、特に二つの質問について興味深く聞かせていただきました。

ことで、大田原市の総合的な魅力、素晴らしさを再認識しました。

一つ目は、新聞報道にもありましたが国内有数の大型企業誘致決定に関する質問です。企業進出による雇用創出や経済効果、さらに今後の誘致方針等についての質問でした。答弁では、市長をはじめ市職員の方々の大都市や県外各地での地道なPR活動や情報収集などきめ細やかな取組についての説明がありました。粘り強い継続的なはたらきかけが大きな成果となつて実を結んだことに深く感銘しました。また、誘致決定の要因として、自然環境や生活環境、そして教育環境が大きく評価されたとの

二つ目は、小中一貫教育に関する質問です。来年度から市内一斉に始まる小中一貫教育に先駆け、実践研究を進めてきたモデル地区の研究成果と今後の取組についてでした。教育長から児童生徒の学習意欲の高揚や知識・技能の定着が図られ、また小中教職員の協働意識が高められているなどの成果についての答弁がありました。学校教育への市民からの大きな期待を感じると同時に、教育に関わる者としてさらなる本市教育充実への決意を新たにしました。これからの議会や執行部の皆様の御活躍を心から御期待いたします。